

広がるMOT教育

▽ 15 △

専門職大学院の今

我が国のように成熟した社会では、安全・安心とが要求される。このような人材の養成、つまりシステム安全の専門職の養成には、工学的知識と実務経験をもつ

このように人材の養成、つまりシステム安全の専門職の養成には、工学的知識と実務経験をもつ

長岡技術科学大学

プロシエクト研究は主に勤務先で行えるようにしている。また、海外インターンシップの制度を設けており、現地に2週間程度滞在し、安全の実務を研修している。海外で実務能力を育成するため



技術経営研究科 システム安全系教授 門脇 敏

システム安全体系化

海外研修で実務に磨き

あわせて30人)に対する教員数は非常に多く、丹念な教育を行うことができる。また、専任教員はシステム安全の教育と研究に長年携わっており、その半数以上が実務経験を有している。

本専攻の修了者には、「システム安全修士(専門職)」の学位が授与される。修了者は高度かつ

分野	具体的業務の事例
安全認証	【メーカー】 ○各種国内安全規格に基づく製品の自己認証業務・認証取得 ○海外安全規格に基づく輸出製品の自己認証業務・認証取得 【安全検査認証機関】 ○内外の製品安全規格に基づく製品の認証業務・認証取得 ○検査認証機関としての認定取得
安全規格安全設計	【メーカー】 ○ロボット、医療機器、情報電子機器などの各種新規製品分野の開拓に際して、国際的な基本安全規格の適用、グループ安全規格に準拠した製品別安全規格の開発および国際提案 ○新規製品の開発業務における安全面からの検討・点検 ○製品事故などが発生した場合における原因の究明
安全管理	【メーカー】 ○社内における安全管理体制の設計・構築 【コンサルテイング】 ○安全管理体制の設計・構築に関するコンサルテイング

長岡技術科学大学のホームページから作成

学部連携で学術研究

日大が戦略プロシエクト始動

研究費 自主財源で最大

日本大学は学部間連携による大規模な学術研究戦略プロジェクトを始めた。学内を対象に公募して採択した指定研究1件に研究費として年1億2000万円を支給する。期間は4月から最長5年で、自主財源で賄う研究支援としては同大で最大。国際化、少子化などによる大学淘汰の時代を勝ち抜くには、総合大学としての総力を挙げた学術研究を進めて存在感を示すことも必要と判断。インパクトある大学発イノベーションを目指す。

日大が始めた「N・研 人材育成の観点から審査プロジェクト」の統一した。申請時の研究費の上限は年間最大2億円、最長5年で産学連携も対象。今回、申請のあった16件の中から「ナノ物質」を基盤とする光・量子技術、先見性、社会貢献、を重視して採択し、2

「広島」広島大学は5月6日、タイ・バンコクの新材料「代替エネルギー」とグリーンエネをテーマに最先端技術を紹介します。広島大からは抗酸化剤を含有する洗浄剤、竹炭を用いた環境浄化、水素吸着材料開発など5テーマを紹介する予定。聴講は日系企業や現地の財閥グループ企業など

タイで先端技術セミナー

「南大阪」桃山学院大、大阪府立大学など南大阪地域の6大学は、地元教員を軸とした「Cキヤンパス」を30日に大阪府浪速区に開設する。就

地域人材育成で連携

「新潟」新潟工科大学の「地域密着型人間力育成事業」が、経済産業省の09年度一体系的な社会人基礎力育成・評価システム構築を目的として行われてきた。学部間連携が対象の研究支援も行っていたが、自主財源による助成額は1件で最大1300万円に留まっていた。

地域密着型人間力育成 経産省の事業に採択

新潟工科大が県内初

この人間力育成事業により学生は、探求や創造と展開の実践訓練を積み重ねて、必要とされる技術者として育成される。

地域課題を共同研究

県立広島大が募集

県立広島大学は、共同研究で解決を図る地域の課題を募集する。大学が対応可能な分科社会における地域活力増進など6課題に対し

改革に挑む

大学この人に聞く

□ 38 □

早稲田大学は近年、東京女子医科大学との共同研究教育施設「TWINs」の開設や北京大

進めようとしている。他大学の医学部を買収する

研究面の整備に軸足

「早稲田も国際化に対応しないといけない」といふことだ。大

「早稲田も国際化に対応しないといけない」といふことだ。大

記者の目

先進的な国際研究拠点へ成果が重要

早稲田大学は今後着手する重点施策として、学部生を縮減し大学院生の割合を増やす、先進的な国際研究大学としての

早稲田大学は今後着手する重点施策として、学部生を縮減し大学院生の割合を増やす、先進的な国際研究大学としての

検索 モノづくり ニュース

00タイトルを

日刊工業新聞社 Business Li